

姫百合の唄

一、広く知られた沖繩の
犠牲になつた女学生
ひめゆり部隊の物語

三、御国の郷土を守らんと
細い腕にも力こぶ
ひめゆりマークのあて姿

五、何時か敵は上陸と
聞いた時には姫百合も
共に散ろうとひとしらずく

二、二筋忠孝胸に抱き
鉄より堅き日本の
大和魂の桜花

四、他所（よそ）の見る目もいじらしく
弾丸飛び散るその中で
艦砲射撃もなんのその

六、無理に心を励ませど
体を支える食もなく
喉を潤す水もなし